

独創力で
心ときめく未来を
カタチに





農に生かされ、 農に尽くす。

1945(昭和20)年、米づくりが盛んだった岡山で、
農機具の修理工場として誕生した、みのる産業株式会社。

現在では、開発から生産、営業までを一貫体制で対応できる
農業機械メーカーとして付加価値の高い製品を扱っています。

70年にわたり培ってきた経験や技術力を駆使し、

日本初の稲刈り機をはじめ、世に送り出した発明品は500機種以上。

「農作業を少しでも楽にする機械づくりで、
地方の農産品を残したい」との理念のもと、

熊本県のい草、鳥取県のラッキョ、香川県のニンニクといった
各地の特産品に特化しました。ユーザーのあらゆるニーズにお応えする
独創性に富んだ農業機械を多品種少量生産でお届けしています。

日本農業の発展のためには

「1台しか売れない機械でも」をモットーにさまざまな分野で
新たな製品の開発を行っています。

ご挨拶

人力に頼る作業から機械化への道を歩み始めた戦後日本の農業。昭和30年代には、大手企業が農業機械メーカーとして次々と誕生し、日本の農業のあり方も機械の発達とともに様変わりしてまいりました。当社は、こうした大手メーカーとは一線を画す形で独自の発想をもち、開発、技術力を日々鍛え、現在に至っています。

これからの日本の農業は製品の自由化により大きな影響を受けることになりますが、それ以前に農業労働力、これからの担い手をどうするか等、憂慮すべき問題が数多くあります。こうしたなかで農業機械メーカーとして当社にしかできないことは何か。それはやはり商品も経営手法も、すべてを網羅してのオリジナル性重視であり、他所（よそ）とは違うということ。代表者としては強力なリーダーシップが要求されますが、それにもまして、当社の一人ひとりが創造性にあふれ、常に疑問を持ち、改善をしていくという姿勢。今、農業がどうなっているのか。今、農業に必要なものは何なのか。心をもって、それを見ること。想定すること。そして、求められるものをスピーディーに提供すること。これこそが農業機械の大手メーカーと共存し、さらには農業と共に存在することだと考えております。

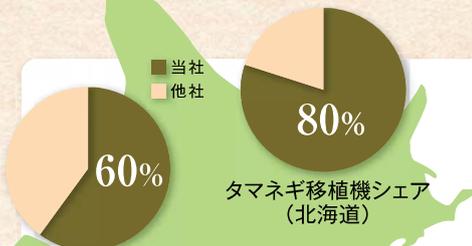
“生きる”ための農業に生かされ、技術を構築する。そこに必要なのは、ユーザーのニーズを掴み、それを開発、生産へフィードバックさせる「営業」。ニーズをカタチに変える原動力としての「開発」。モノづくりにベストを追求する「生産」。我々はこれからも自社開発、自社生産、自社販売という地に足のついたポリシーで日本の農業、ひいては日本の生活をリードする企業として進んでまいります。今一つ農業機械開発のために培って来た、技術、ノウハウを活かした新しいビジネスの取り組みがあります。それは、緑化事業であり、シタケの工場生産であり、トマトのハウス栽培であり、新しい事業の展開を今後も積極的に取り組んで参りたいと思っております。



代表取締役会長 生本 純一



代表取締役社長 生本 尚久



田植機シェア (北海道) 60%

高能率・高速移植で規模拡大に貢献 みのるポット移植システム



丈夫な成苗を根鉢ポットのまま移植することで、圃場への活着を早くし、病虫害や雑草、寒さに負けない初期生育を実現。ポット成苗システムは、水稲用として昭和47年に産声をあげた当社独自の技術。昭和60年からは、野菜の分野へも応用し、作物毎の移植機を開発。大規模農家向けに、いかに省力のシステムを構築していくか、いかに狭い条間・株間へ苗を高精度に植えていくか技術の粋を集め、日々挑戦を続けています。

乗用タマネギ移植機 OPT4 北海道での移植風景

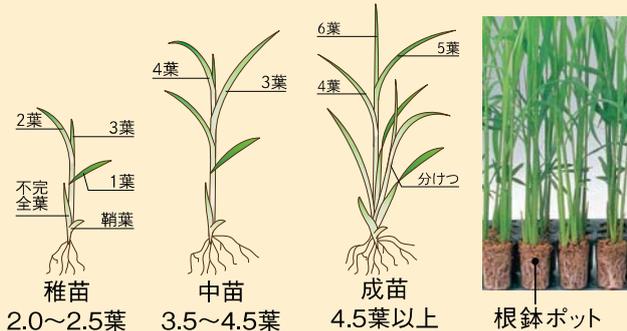


北海道での田植風景



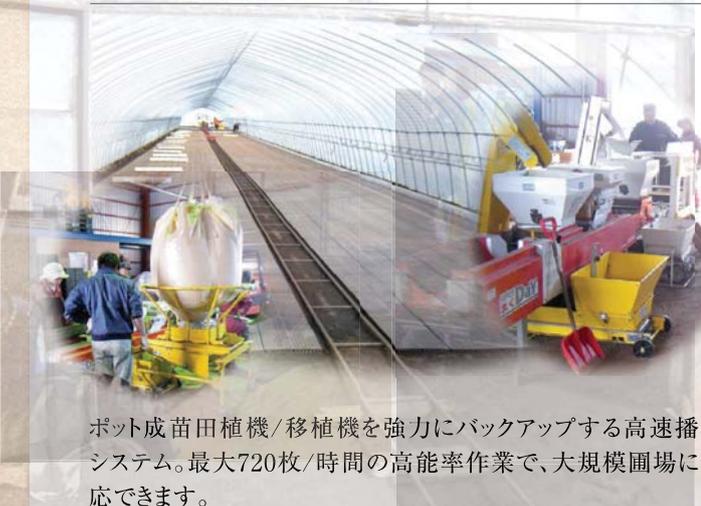
GPS搭載乗用8条田植機 RXG80D-GS

丈夫な成苗を根鉢ポットのまま移植する、みのる独自方式



みのる高速播種システム

海外への展開



ポット成苗田植機/移植機を強力にバックアップする高速播種システム。最大720枚/時間の高能率作業で、大規模圃場に対応できます。



韓国へタマネギ移植機を輸出 (生産地・務安)



中国AMEC社との技術提携



オランダでのタマネギ移植機展示会出展



欧州へ野菜移植機を輸出 (展示会実演風景)

研究本部

Research and Development

独創力で 心ときめく未来をカタチに。

農業機械のニーズは、地域や作物、栽培体系によって実にさまざま。ご要望をお聴きすれば、たとえ1台の受注生産でも真摯に向き合い、研究者自らが、必ず現場に赴いて設計仕様を固めていく。この姿勢から生まれる独創的なアイデアを、長年培った技術を活かした創造力で、新たな製品へ。現場に根ざした、みのる産業独自の「モノづくり」がここにあります。



研究本部

● 現場主義を貫く

～みのる産業ならではのフットワーク～



● 設計者自ら現地に赴き、ご要望をお聴きします



● 現地でのテスト風景

● 独創力を支える開発環境



● 3DCADによる設計の様子



● 〈Mechanicalによる強度解析ワークショップ〉
コミュニケーションを大事にしながら、設計を進めていきます。

試作工作グループ

設計者と一緒に、試作機の改良を検討し必要な部品をスピーディーに製作する。モノづくりの豊富な知見を土台に、生産への橋渡しをする精鋭部隊「試作工作グループ」は、新製品の設計品質向上と開発期間短縮を実現する強力な推進力となっています。



💡 家庭用の製品も
開発しています。



3合タイプの
コンパクト型
餅つき機「つき姫」



家庭用水耕
栽培キット
「私の畑」

工場本部

Production

多品種少量のモノづくりを極める。

大量生産方式の時代は終わりを告げ、
多品種かつ少量での生産が強く求められる時代。
みのある産業では、従来のライン中心の生産方式からセル生産へ大きく舵を切りました。
多品種少量のモノづくりにきめ細かく対応できるよう、さまざまな取り組みを
継続的に実施し、スピーディーかつ高品質な生産を実現しています。



MS
CM007



ISO 9001 05QR-1368
ISO 14001 03ER-295

(本社・工場のみで取得)
ISO9001 (品質) 認証取得
ISO14001 (環境) 認証取得



品質保証室



社内では黄色い帽子がシンボルの品質保証室。研究・営業・工場の各プロセスを結び、「モノづくりの見張り番」として、重要なマネジメントを行っています。

● 品質をつくり込み、お客様の要求仕様に短納期で対応



● 機械グループ
(NC加工機)



● 金型製造グループ



● プレス板金グループ
(ロボット溶接)



● ファイバーレーザー加工機

機械加工・プレス加工・レーザー加工・塗装・組立の一貫体制で短納期を実現。各部署、前後工程と緊密な連携を図ることで、品質をつくり込み、多品種少量のモノづくりを実現しています。

営業本部

Sales and Marketing

常にお客様の立場で考える。

農業という現場に、もっとも近い立場にある営業。
現場の声をよく聴き、広い視野と柔軟な対応で
お客様にとって本当に必要なものを提案していく。
地域創成の時代、農業を元気にするお手伝いをしていきたい。
誠実信頼を第一主義とした、みのるブランドの営業です。



業務部



受発注管理・在庫管理、アフターサービス等を担う業務部。正確・スピーディーで、より親身な対応を目指し、日々お客様に向き合っています。

● お客様と共に、新製品・新用途を創る



● シート巻取機



● ラッキョ移植台車



● 大豆選別機

「大豆の選別がもっと楽にできないか…。」
このような現場の声から新製品が生まれます。

積極的に農業の現場に赴き、お客様と同じ立場で考え、お客様と一緒に新製品・新用途を創り上げ、さらに新市場を開拓する。この活動を「三創活動」と銘打ち、「地域の農業を元気にしたい」という、想いを込めて実践しています。

エクセルソイル 事業部

Excel Soil
Project



「農」で培った技術が環境を守る。

玉葱育苗の技術を活かして開発されたエクセルソイル・固化培土は、植物の成長にとって理想的な環境となっています。私達は、この固化培土が風雨による土壌の飛散や流出がほとんどなく“壁面緑化・屋上緑化に最も適した素材”であると気付いたのです。この“農”からスタートした技術を植物についての知見、現場のニーズに応えるための知恵と共に発展させ、どこにも負けない資材を提供できるよう、進歩・発展させていきます。

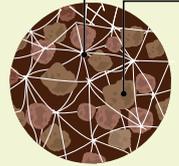
エクセルソイルとは

みのる産業(株)と(株)クラレが共同開発した、ポリエステル繊維を用いた固化培土です。

エクセルソイルの特長

- ① 培土素材の形状に関係なく3次元の網状の構造を形成します。
- ② 培土素材が持つ本来の保水性・透水性を損ないません。
- ③ 繊維がスポンジ状の構造を長期間維持、植物に重要な“空気”(気相)が確保されます。

ポリエステル繊維
培土



シイタケ 事業部

Shiitake
Project

コウノトリの里からスタートした みのる産業ならではの挑戦。

長年、「農」に関わってきたノウハウを活かし、2008年からシイタケの生産事業を開始。
事業規模は但東工場と岡山工場を合わせて年間125万菌床、出荷量は年間840tを超え、
西日本では有数の生産規模となっています。

1 仕込み



2 接種



3 培養



4 収穫



自社工場で菌床の製造から出荷まで
一貫生産管理を行っています。



但東工場
(兵庫県豊岡市)

年間45万菌床



岡山工場
(岡山県赤磐市)

年間80万菌床



地域創成のモノづくり

地方の特産品を応援します！

青森

GA-1



ニンニク種子割り機



産学官共同研究

KE3A+KW



緊プロ事業
水田駆動
除草機

BW-4



歩行型ブラシ
水田除草機

北海道

OPT40H



乗用4条タマネギ移植機



佐賀・長崎

OPK40



歩行4条タマネギ移植機

PWX-50A



タマネギ床播き播種機(5条)

OH-1K



籾殻散布機

宮城

震災復興支援事業

VP100B



歩行1条白ネギ移植機

OPT40H



乗用4条タマネギ移植機

福井

STB-2



さといも分離機

長野・東北

AM-10



リンゴ蜜検知器
「蜜の調べ」



栃木

FZ-20



白ネギ用
除草剤散布機

岐阜

SP-1



ほうれん草根切機

沖縄・愛知

MOK-22



杭打機
「杭ッマン」

香川

NID-3



ニンニク移植台車

兵庫

PLE-112



動力大粒播種機1条

徳島

MBD-1E



甘藷根毛処理機

MF-2C
MF-6C



自走マルチチェアー

淡路島

VOC40



歩行4条
タマネギ移植機

PWX-10



タマネギ床播き
播種機(10条)

OH-1



籾殻散布機

NPS-1



ハンディ追肥機

DA-2



トラクター用粒剤散布機

次世代の農業のために



● 防除ロボット

みのる産業では、自社開発の他にも先端技術や環境にやさしいテーマを中心に、国の研究機関や大学、さらに民間の研究機関とも協力し、次世代の農業を担う、さまざまな研究開発を行っています。

みのる産業の参画事業

- 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
- 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(農食事業)
- 農業機械等緊急開発事業(緊プロ事業)
- 革新的技術開発・緊急展開事業



● 水田駆動除草機

テーマの一例

- 機械除草技術を中核とした、水稲有機栽培システムの確立と実用化(農食事業)
- 乗用管理機等に搭載する水田用除草装置(緊プロ事業)

みのる施設園芸製品の取組みについて

■ 作業台車の開発経緯

トマトの大規模菜園から「海外製作業台車は故障した時のメンテナンスが大変なため国産台車を作って欲しい」との依頼でスタートしました。当時は作業台車のノウハウも少なく、改良も多くありましたが、2004年にGW-1を開発、その後GW-10・GW-20・GW-30・GW-40とモデルチェンジを行い、国産台車としての実績を高め、全国各地でご愛顧いただいています。2021年にGW-41・GW-50、2023年にはGW-110・GHE-110を発売し、施設園芸関連製品の開発・販売を強化しています。



● ハウス内管理作業台車



■ みのるファーム立ち上げ

2017年に徳島県石井町へ「みのるファーム株式会社」を設立、自社の作業台車や収穫台車などを用いて、ミニトマトの生産・販売を行っています。現在は、ロックウールなどの代替品として、固化培地「エクセルソイル」の実用性試験や環境制御システムのノウハウの構築をしています。また、ファーム作業者の提案により、レール下に落ちた残渣ゴミを風で飛ばす「ブロワクリーナー」、作替え時に誘引紐のついた主茎束を切る「主茎切断機」、切った主茎束を効率良く運搬する「マルチ搬送台車」などを商品化しました。



● ブロワクリーナー

■ 新商品開発について

水稲のように播種から刈取り後の作業まで機械化一貫体系が構築できている作物もありますが、施設園芸ではまだまだ機械化できていない部分が多くあります。農業人口が減少する中、農作業を少しでも楽にするため、みのる産業では生産現場に適した省力機器の開発を今後も精力的に行っていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 「有機稲作成苗の会」結成



合同研修会（2013年）岡山県・徳島県・兵庫県

2010年、ポット成苗システムによる、有機無農薬米作りに挑戦する有志により、「有機稲作成苗の会」を結成。一人の徳島の農家の「ポット成苗でなければ有機稲作は成り立たない」が起点となり、岡山県・兵庫県・広島県・山口県・島根県とその輪が広がり、有機無農薬米作りに挑戦、互いに技術を磨き今日に至っています。



田植同時
又力散布

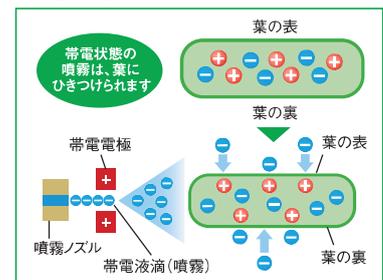
2 大幅な農薬使用量の削減を実現 静電噴口の進化



静電噴口 **e-ジェット** とは？

農薬を噴霧する際に、液滴に静電気を付与することで葉の裏まで効率的に付着させ、地面への落下も低減。農薬の使用量を約30%削減できるエコマシーンです。発売以来、日々研究を重ね進化を続けています。
◀e-ジェッターによる散布付着

帯電付着のメカニズム



2004年

初代静電噴口を発売!



2008年

多様な作物へ展開

イチゴ ホウレン草



現在

ヒーター内蔵・軽量化を実現

イチゴ ホウレン草



3間ハウスを一振り
で全面散布



ヒーターにより
電極部を最適な
状態で維持

静電噴口 **e-ジェット CUBE** (キューブ)

キュウリ トマト ナス

立体作物用



自走型防除機
取付けタイプ



2005年(平成17年)創業60年。地球の温暖化、オゾン層の破壊、生物多様性の減少等地球環境の問題が顕在化するなかで、持続的な生産活動の必要性により環境保全型農業への転換が見られ、これを機に「環境宣言」(人と環境にやさしい農業を応援します)を企業方針として掲げました。「日本の農業をカエル。環境をかんガエル」を合言葉に有機農業へ誘導する活動を開始しました。一粒の種子から苗を育み、命を育むことを理念としました。また、世界中で取組まれているSDGsにおいても「目標を達成するために我々は何をすべきか」を真剣に考え、これからも挑戦を続けてまいります。

3 兵庫県豊岡市と協定調印



2013年(平成25年)12月20日、兵庫県豊岡市とポットによる「コウノトリ育む農法」を柱とした有機農業推進に関する技術協定を結びました。ポットによる無農薬米作りの技術確立を目指すもので2015年からは実証圃1.2haに加え、16軒の農家で16.5haの「チャレンジ事業」と「育苗システム構築事業」がスタート。いままで不可能であった、雑草の影響による収量減と品質のバラつきを、ポット成苗と水田駆動除草機の活用で、480kg/10a以上の収量確保と食味向上を実現し、環境と経済が両立するビジネスモデルの構築を図ります。いっさいの農薬や化学肥料を使用しない有機稲作の技術開発と普及により、人類の未来を開く最先端の農法として脚光を浴びる時代を作ることを、みのる産業の使命としています。

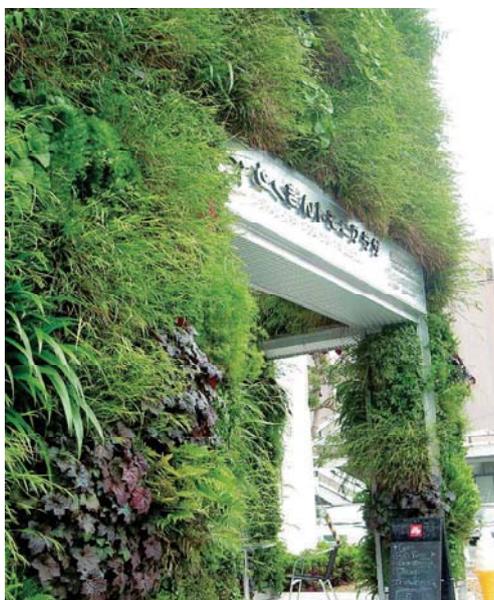


2013年12月20日 技術協定調印式
 豊岡市中貝市長・みのる産業(株)生本会長



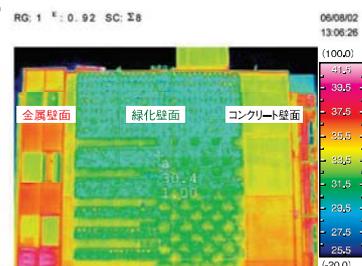
みのるの水田駆動除草機(6条タイプ)

4 壁面緑化への取り組み



都市緑化の手法は平面から垂直へと推移しているなかで、固化培土・エクセルソイルを用いた壁面緑化は、素材にこだわり、環境にも自然にも優しい技術。植物はCO₂を固定するだけでなく、気化熱などによる周囲環境や建物への冷却効果があります。また植物には癒しや安らぎなどを与える効果があると言われています。

自社圃場では、顧客からの受注生産を含め、植物の生産を行い、施工直後から高い被覆率を目指しています。また、満足度の高い壁面緑化を維持できるよう自社開発した自動灌水・警報装置を用い、メンテナンスまで行います。大気浄化やヒートアイランド現象の軽減、緑あふれる都市化に貢献していきます。



清水建設(株)技術研究所
 大阪大学FRC棟における観測例



(1948) カルチベーター



(1948) 薬液散布機「2・4-Dスプレー」



(1954) 胸掛散粉機
「型落下吸引式ダスター」



(1961) 遠心式散粒機



(1963) 遊星式集束型動力刈取機



(1969) 土付中苗植機



(1972) 土付成苗歩行用
2条田植機



(1985) 除草剤専用
散布機「桃太郎」

- 昭和 23 年 (1948) カルチベーター
ハロー
薬液散布機「2・4-Dスプレー」
- 昭和 29 年 (1954) 胸掛散粉機「型落下吸引式ダスター」
- 昭和 30 年 (1955) 肩掛半自動噴霧機
背負散粉機
- 昭和 31 年 (1956) 電気散粉機
- 昭和 35 年 (1960) 薬液散布機 (横型)
- 昭和 36 年 (1961) 遠心式散粒機
- 昭和 37 年 (1962) ダイアフラム式歯車噴霧機
- 昭和 38 年 (1963) 2条直播機 (人力型)
遊星式集束型動力刈取機
便利容器
- 昭和 39 年 (1964) 動力4条直播機 (アタッチ型)
- 昭和 41 年 (1966) 米・餅・味噌3兼機
散粉・ミス・散粒動力3兼機
- 昭和 44 年 (1969) 土付中苗田植機 (フロート型)
土付中苗田植機 (アタッチ型)
中苗田植用播種機 (PS-S)
中苗用苗箱「なわしろ」
- 昭和 45 年 (1970) 土壤消毒機 (1条型)
餅搗機「スチームツッキー」
土入土押機 (中苗用)
- 昭和 46 年 (1971) 成苗用苗箱「なえどこ」
スライド式播種機
回転式播種機
餅搗機「みのるツッキー」
- 昭和 47 年 (1972) 土付成苗歩行用2条田植機 (LT-2F)
- 昭和 48 年 (1973) 野菜播種機
大型電動播種機
動力4条直播機 (兼用アタッチ型)
- 昭和 49 年 (1974) 動力2条直播機 (専用型)
小型電動播種機 (LSE-1)
歩行用4条田植機 (LT-4F)
- 昭和 51 年 (1976) 回転ふるい機 (SC-1)
- 昭和 52 年 (1977) 苗取機 (LS-W II)
マルチ播種機
- 昭和 53 年 (1978) 湧水流下式催芽機 (LW-111/212)
乗用4条田植機 (LTR-4F)
脱芒機 (DB-10)
電動ふるい機 (SC-M)
除草剤専用中圧スプレー (FT-18)
背負肥料散布機 (LF-S4)
薄播回転播種機 (LS-3)
乗用8条田植機 (LTR-8F)
胚芽精米機「ハイガー」
- 昭和 54 年 (1979) なえどこ洗滌機 (LSC-2)
歩行6条田植機 (LT-6F)
野菜播種機 (PW-2型)
米びつ精米機「つきたて」
ポット2条田植機 (LTP-2F-D)
マット苗箱洗滌器「ラクリーン」 (LSC-4)
ポット歩行4条田植機 (LTP-4F)
- 昭和 55 年 (1980) ポット播種機 (LSP-2)
土入れ機 (LSA-1)
覆土機 (LSA-2)
- 昭和 56 年 (1981) 簡易乗用装置 (4条・6条田植機用)
大豆・コーン播種機 (PL-1)
餅きり機 (アタッチ型・専用型)
乗用4条田植機 (LTR-4F-S)
- 昭和 57 年 (1982) 土入れ機 (LSPA-1)
覆土機 (LSPA-2)
家庭用生ゴミ処理器「タイヒー」
空冷式スチーム餅搗機 (HSA-31)
ティラー用大粒播種機 (PL-2)
- 昭和 58 年 (1983) 歩行型田植機用苗自動供給装置 (LAF-2)

- 大粒播種機 (PR-2L)
- 昭和 59 年 (1984) 簡易水稻補植機 (ET-1)
トラクター用土壤消毒機 (IDT-40)
- 昭和 60 年 (1985) タマネギ移植機 (OP-4)
白ネギ移植機 (OP-290)
電動ポット苗箱洗浄機 (LSCE-3)
除草剤専用散布機「桃太郎」 (FT-1800)
- 昭和 61 年 (1986) フォーク式運搬具 (LSPF-2)
ポット倍速乗用6条田植機 (LPR-6)
風選脱芒機 (DH-100)
- 昭和 62 年 (1987) 粉衣脱芒機 (DB-50)
苗代均平具「均ちゃん」 (LSL-1)
ポット倍速乗用4条田植機 (LPR-4)
ポット苗運搬具 (LSPF-3)
ポット苗箱洗浄器 (LSC-3)
遠赤曝気式催芽機「芽出たくん」 (LW-31)
- 昭和 63 年 (1988) 乗用型田植機用ロータリー側条施肥装置
マット苗運搬器「苗キャリア」 (CN-7)
ポット全自動播種機 (LSPE-4)
- 平成 2 年 (1990) II型ロータリー乗用4条田植機 (LR-4)
播種機用灌水装置 (LSPA-4)
野菜播種機「テープセッター」 (PTS-12)
- 平成 3 年 (1991) X型ポット歩行4条田植機 (X-4)
乗用4条田植機 (深田用) (LRD-4)
タマネギ移植機 (内地用) (OP-41)
X型ポット乗用6条田植機 (RX-6)
- 平成 4 年 (1992) トラクター用同時マルチ土壤消毒機 (IDM-6)
卓上型精米機 (KG-15)
バッテリー噴霧機 (FBS-160)
X型ポット乗用4条田植機 (RX-4)
II型ロータリー乗用4条田植機 (LRM-4)
II型全自動播種機 (LSE-5)
- 平成 5 年 (1993) 野菜全自動播種機「まぐSun」 (OSE-30)
歩行2条移植機 (OP290/2100)
- 平成 6 年 (1994) トラクターアタッチ不耕起直播機
「直播き名人」 (PFT-4/6/8)
X型ポット歩行2条田植機 (X-2)
野菜定植機 (OP245/255)
野菜全自動播種機「まぐDon」 (VE-10)
野菜・菊定植機 (VP245/255)
除草剤専用散布機「桃子」 (FT-1200)
- 平成 7 年 (1995) アタッチ型不耕起直播機 (PFK-21K)
II型歩行ロータリー2条田植機 (L-2)
電池散粒機「均太」 (LM-90)
- 平成 8 年 (1996) ポット苗箱並べ機 (NSA-10N8)
簡易播種機「ハンディーマック」 (G-8/12)
ポット高速播種機 (LSPE-6)
い草乗用8条移植機 (MRX-8)
- 平成 9 年 (1997) 乗用4条タマネギ移植機 (OPR-4)
ポット320全自動播種機 (LSPE-5)
- 平成 10 年 (1998) 歩行2条野菜移植機 (VP290/2100)
バッテリー噴霧機 (FBS-161)
乗用豆刈機 (RBR-20)
マット苗箱並べ機 (NSG-10)
畑作乗用管理機 (RT-31)
動力野菜播種機 (PWE-121, PYE-121)
プラスチック噴霧機 (FP-1500)
野菜移植機 (VPC230)
ハンドプランター (HPS-1)
- 平成 11 年 (1999) ポット積上機 (LSPA-8)
ポット乗用6条田植機 (RXA-6)
ポット乗用4条田植機 (RX-40)
箱粒剤散布器「さらっと」 (HNS-25)
ポット448全自動苗箱洗滌機 (LSCE-6/7)
乾田耕起直播機 (PRY-210)
ポット324全自動播種機 (VOE-10)

商品開発の歴史。

duct History

- 平成 12 年(2000) 動力大粒播種機(PLE-110)
マルチ回収機「巻っこ」(W-1)
動力マルチ張り機(MY-60 1)
走行動力噴霧機(FE-25)
ポット乗用4条田植機(RS-4)
- 平成 13 年(2001) ポット乗用8条田植機(RXA-8)
しそ刈り機(MH-1)
同時マルチ土壌消毒機8条型(IDM-8)
- 平成 14 年(2002) ハローキティーおもちゃメーカー(HS-031)
たばこバッテリー散布機(FBV-50T)
シート回収機「巻っこ」(W-6)
ミニカルチ「ミニもぐ」(EU-5)
白ネギ1条移植機(VP-100)
ポット乗用6条田植機(RXC-6)
- 平成 15 年(2003) II型コンパクト乗用4条田植機(RM-41)
全自動米研ぎ機「とぎたて」(HRC-121)
乗用4条玉ネギ移植機(OPR-400)
自走マルチチェアー「まごころ」(MF-2)
- 平成 16 年(2004) ステッキ注入機(FI-10/20)
静電噴口「e・ジェッター」(FS-11/20)
全自動玄米プロセッサ(HRG-121W)
水田除草機(RW-40)
固化培土エクセルソイル
プラスチックダイヤフラム噴霧機(FP-1010)
- 平成 17 年(2005) トマト収穫台車(GH1)
トマト作業台車(GW1)
静電噴口(FS-100/200)
野菜播種機「菜々子」(PYX-1, PWX-1)
ポット乗用6条田植機(RXD-6, RXE-6)
杭打機「杭つくマン」(MXD-2)
- 平成 18 年(2006) アスパラ収穫台車(MF-13)
歩行4条玉ネギ全自動移植機(OPK-4)
ポット積上機(LSPA-80)
真空播種機(VS-1)
- 平成 19 年(2007) ポット成苗乗用8条田植機(RXG-8)
フード付手押し噴口「ドリフマスター」(FW-10/20B)
動力均平機「クイックレベラー」(MOL-1)
歩行2条玉ネギ移植機(VOC-221)
餅搗機「ファンツッキー」(HSA-35)
- 平成 20 年(2008) ポット成苗乗用4条田植機(RXD-4/N)
多頭口型静電噴口シリーズ
乗用玉ネギ移植機(OPT-4)
追肥機シリーズ(AN-1T/2/3A)
大豆不耕起直播機(PFLT-275)
- 平成 21 年(2009) ダンボールテープ貼り機(MY-5)
フッ素回転台付き餅切機(HCF-233)
LED誘引捕虫器(CMF-100)
- 平成 22 年(2010) 新型ポット積上機(LSPA-81/810)
お茶用ネット巻取機(W-11)
わくわく菜園種まきセット(G-81A)
- 平成 23 年(2011) 欠株センサー(RXG-8, DLR-8)
バッテリー除草剤専用散布機(FBS-Li15)
家庭用精米器(YRP-50)
ポット高速播種機(LSPE-61)
- 平成 24 年(2012) トラクター用粒剤散布機(DA2)
ポット苗箱運搬押入機(NBT-1)
米ヌカ散布機(KNA-40)
トラクター牽引移植機(VPT466)
玉ネギ床播き播種機(PWX-10)
- 平成 25 年(2013) ディーゼル乗用8条田植機(RXG80D)
パワコン(LSPA-61)
動力ねぎ類剪葉機(TC-110D/170A)
ラッキョ移植台車(RID-2)
籾殻散布機(OH-1)
栽培セット(P-01/04)

- 平成 26 年(2014) 乗用4条玉ネギ移植機(OPT40)
フレコン排出補助装置(SC-2)
シート巻取機(W-70)
マイ・プランター(P-05)
- 平成 27 年(2015) 野菜全自動播種機(VE-31)
歩行4条玉ネギ移植機(VOC4)
リンゴ蜜検知機(AM-1)
水田駆動除草機(KE3/KW4)
粒剤散布機(BS-1)
大豆選別機(DS-1)
3合もちつき機(HS-035)
栽培セット(P-02M)
- 平成 28 年(2016) 乗用4条玉ネギ移植機(OPKR40)
苗箱供給機(LSPB-1)
シート巻取機(W-150)
半自動野菜移植機(VT-2)
水田溝切機(MZ1)
- 平成 29 年(2017) 防除口ポット(ARS-1, ARS-20)
GPS搭載乗用8条田植機(RXG80D-GS)
ハウス内電動収穫台車(GHE-1)
ニンニク種子割機(GA-1)
ほうれん草根切機(SP-1)
ハウス内管理作業台車(GW-40)
- 平成 30 年(2018) 乗用4条半自動タマネギ移植機(KP-4T)
乗用2条野菜移植機(VPR-20/21)
クローラ式追肥機(AN-6)
い草ほぐし機(MS-3)
- 平成 31 年(2019) 植林用穴掘り機「ほるほるくん」(SR-11)
野菜選別機(SO-1)
玉ネギ茎葉処理機(OC-1)
- 令和 元年(2019) 吸引式LED捕虫器(CLF-500)
1条型溝切機(MZT1/MZS1)
電動マルチ作業台車(GHE-101)
玉ネギ高速播種機(OSE-200)
白ネギ除草剤散布機(FZ-20)
乗用4条玉ネギ移植機(OPD4)
半自動野菜移植機(VT-20)
里芋分離機(STB-1)
追肥機(AN-5)
消毒液スタンド(FD-1)
- 令和 2 年(2020) 3条土壌消毒機(IDX-31)
歩行2条野菜移植機(VPA-2)
歩行型ブラシ水田除草機(BW-4)
主茎切断機(GSC-1)
マルチ搬送台車(GCO-1)
管理作業台車(GW-50)
玉ネギ播種機(VOE-20)
野菜用除草剤散布機(FZ-10)
モーター作業台車(MF-100)
杭抜機(JK-10)
大苗用ハンドプランター(HPS-9)
- 令和 3 年(2021) ポット積上機(LSPA-82)
シート減量機(WB-1)
ポット乗用6条田植機(RXE-61)
ポット乗用8条田植機(RXG-800)
葉物残渣処理機(CP-170/170B)
小菊収穫機(MH-8)
- 令和 4 年(2022) 歩行4条玉ネギ移植機(VOC-40)
乗用2条野菜移植機(VPR-22)
歩行型ブラシ式水田除草機(BW-4A)
モーター作業台車(MF-200)
静電噴口(防除口ポット用)(FSL-100)
玉ネギカルチ(CFT-5)
管理作業台車(GW-110)
管理作業台車(GHE-110)
- 令和 5 年(2023) 歩行4条玉ネギ移植機(VOC-40)
乗用2条野菜移植機(VPR-22)
歩行型ブラシ式水田除草機(BW-4A)
モーター作業台車(MF-200)
静電噴口(防除口ポット用)(FSL-100)
玉ネギカルチ(CFT-5)
管理作業台車(GW-110)
管理作業台車(GHE-110)



(2008) 多頭口型静電噴口シリーズ



(2014) 乗用4条玉ネギ移植機



(2015) 水田駆動除草機



(2015) 3合もちつき機



(2017) GPS搭載乗用8条田植機



(2017) ハウス内管理作業台車



(2019) 玉ネギ茎葉処理機



(2023) 歩行型ブラシ式水田除草機



(2023) 静電噴口(防除口ポット用)

経営方針・経営理念

Origin Philosophy



創始者 **生本 實**
Ikumoto Minoru



黄綬褒章
(昭和57年)



勲四等旭日小綬章
(昭和62年)



山陽町名誉町民章
(平成元年)

終点のないチャレンジ精神

明治44年生まれ。毎朝5時半に起床し、ゴルフのショートコースで汗を流すこと約1時間。その後、朝風呂を浴び、7時50分にはみのる産業本社に出社する。そして、大半を研究所で過ごす。これが生前の生本實の日課であった。

無類なきエネルギーとバイタリティを持って、“モノづくり”に打ち込んだ88年の人生。日本の農業の行方を憂うがゆえに終点のないチャレンジ精神で、そこに真っすぐに生きたみのる産業創始者。妥協を許さない“創意と創造”。生本實のこのDNAこそが、みのる産業の財産なのである。

ORIGINは、ここから。

主な受賞歴

昭和32年 11月 散粉機の開発に関し通商産業大臣より表彰状	昭和55年 10月 科学技術庁長官より発明奨励賞
昭和35年 4月 薬剤混合散布方法の発明に関し発明協会会長より発明特賞	昭和57年 4月 土付成苗田植機の考案により黄綬褒章
昭和37年 9月 紺綬褒章	昭和59年 4月 産業部門功績により岡山日日新聞賞
昭和40年 10月 岡山県知事より発明功労賞	昭和61年 1月 産業功労により山陽新聞賞
昭和40年 11月 中国新聞社より中国科学賞	昭和62年 11月 発明功績により中小企業庁長官賞
昭和52年 2月 (財)日本発明振興協会会長より発明功労賞	昭和62年 11月 産業功労と発明功績により岡山県知事表彰
昭和53年 8月 岡山県知事より産業部門三木記念賞	昭和62年 11月 勲四等旭日小綬章
昭和53年 9月 (財)日本交通安全協会会長より交通安全賞賞状十字賞	平成元年 11月 山陽町(現赤磐市)より(名誉町民章)山陽町功労顕彰

社 憲

- 我々は常に正道に立って社務を運営する。
会社の真の発展は社業を通じて、社会の進展に寄与するものでなければならない。
- 我々は顧客に最大の利益を提供しつつ、社業の繁栄を図る。
企業は顧客のために存在する。
- 我々は時運を洞察して、社業を推進する。
時流に棹(さお)させばその効果は早く、かつ大きい。
- 我々は誠実と堅実を会社経営の本領とする。
創業の功は成り易く、守成の功は成り難い。
- 我々は燃える闘志と飽くまない研究心を以って自己の任務に邁進する。
先手と創意が、会社繁栄の道を拓く。
- 我々は絶えず知識技術の練磨と人間完成の修練を続け、会社発展の原動力となる。
事業は人なり。
- 我々は組織を重んじ規律に従う。
各部署互いに緊密な連絡を保ち相協調して社務の円滑な運行を期する。
- 我々は家族的情誼に基いて明朗健全な会社を建設する。
経営者と社員は共に会社の根幹である。「互いに相扶(たす)け、和の心」を以って一致協力する。
- 我々は会社と生涯を共にする愛社精神を以って常に会社中心の行動をする。
会社の一員としての誇りと責任を持つところに愛社精神が生まれる。
- 経営者の選択は会社の興廃を左右する。
会社はこの社憲に最も忠実である者の中から経営者を推挙する。

会社顧客社員三位一体の繁栄を冀(こころ)ってこの社憲を制定し永く経営の基範とする。

社 是

誠実信頼の精神(心)
独創と科学的頭脳(頭)
明朗で品位ある言動(体)

綱 領

- 研究綱領** 一に独創
二にも独創
我々は創意工夫に全智全能を傾注する
- 生産綱領** 我々は良い製品を造る
出来るだけ安く造りたいがやむを得なければ高くついてもよい
良い製品を造ることが信条である
- 販売綱領** 我々は誠実信頼を売る
出来れば収益を取めたいがやむを得なければ損をしてもよい
あくまで誠実信頼を第一主義とする

三 意

創意

常識から創意は生まれない、常にベストを求めて挑戦することが創意の原点である「創意なければ進歩なし進歩なければ発展なし」

熱意

熱意は全ての行動の原動力である「熱意なければ成功なし成功なければ人生なし」

誠意

誠意とは誠心であり、これは個人、企業問わず全ての社会の原点である「誠は真の力なり誠無ければ人にあらず」

会社概要

Company Profile

会社商号

みのる産業株式会社

所在地

■本社工場

〒709-0892
岡山県赤磐市下市447
TEL(086)955-1122(代)
FAX(086)955-5520

役員構成

代表取締役会長 生本 純一
代表取締役社長 生本 尚久
取締役副社長 國定 登志雄
常務取締役 陶山 純
取締役 生本 実千久
取締役 田中 進
取締役 藤森 陰男
取締役 佐藤 輝明
監査役 生本 治子
監査役 生本 知恵

創業

昭和20年(1945年)10月
昭和24年(1949年)7月 株式会社に改組

資本金

7,200万円

従業員

450名

生産品目

農業機械関係
(田植機、不耕起直播機、播種機、防除機、
散粒機、タマネギ移植機、野菜移植機、
ハウス内管理作業台車、その他)

食品加工機関係
(餅搗機、精米機、その他)

ゴルフ関係機
(ゴルフ練習場専用打球機)

環境関連資材
(壁面屋外緑化基盤材、その他)

農業生産品
(生シタケ、乾燥シタケ)

太陽光発電事業

取引銀行

中国銀行赤磐支店
みずほ銀行岡山支店
三井住友銀行岡山支店
三菱UFJ銀行岡山支店
伊予銀行岡山支店
トマト銀行赤磐支店
みずほ信託銀行岡山支店

事業所

■東京支店

〒337-0042
埼玉県さいたま市見沼区南中野210
TEL(048)683-9451(代)
FAX(048)683-9452

■長野営業所

〒389-1104
長野県長野市豊野町浅野582-4
TEL(026)257-6530(代)
FAX(026)257-6531

■徳島営業所

〒771-1151
徳島県徳島市応神町古川東197
TEL(088)641-2311(代)
FAX(088)641-2324

■九州支店

〒818-0066
福岡県筑紫野市大字永岡1020-1
TEL(092)921-6006(代)
FAX(092)921-6008

■倉敷工場

〒710-1102
岡山県倉敷市茶屋町早沖1825-11
TEL(086)428-2041(代)
FAX(086)428-7749

■北海道工場

〒068-2165
北海道三笠市岡山214-6
TEL(01267)2-7104(代)
FAX(01267)2-4019

■岡山工場(シタケ事業部)

〒701-2225
岡山県赤磐市山口2087-1
TEL(086)956-3388(代)
FAX(086)956-3188

■但東工場(シタケ事業部)

〒668-0311
兵庫県豊岡市但東町出合5-5
TEL(0796)54-0806(代)
FAX(0796)54-0807

■エクセルソイル事業部 本社・工場

〒709-0892
岡山県赤磐市下市447
TEL(086)955-1653(代)
FAX(086)955-2866

■エクセルソイル事業部 東京オフィス

〒160-0004
東京都新宿区四谷3丁目1番5号
ロリエ四谷3階
TEL(03)6274-8034(代)
FAX(03)6274-8035

主な納入先

日本ニューホランド株式会社
株式会社クボタ
山陽薬品株式会社
株式会社モチヅキ
株式会社やまびこ
株式会社丸山製作所
タイガー魔法瓶株式会社
日立コンシューマ・マーケティング株式会社
リビングサプライ社
イワタニアグリグリーン株式会社
出光興産株式会社

この他に、主力400社の代理店・特約店を通じ全国に販売

沿革

History

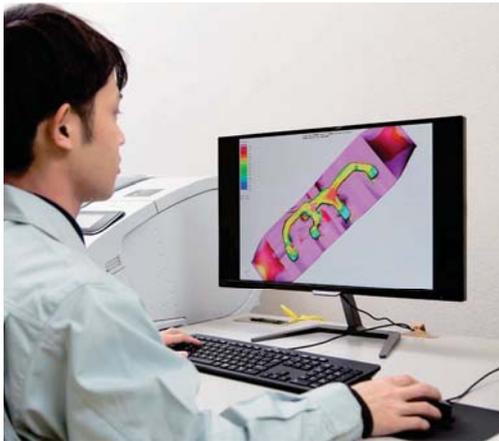
昭和20年(1945)10月 前会長生本實が、個人経営で農機具の製造を開始
昭和24年(1949)7月 業務拡張に伴い、みのる産業株式会社を設立
昭和36年(1961)11月 みのる化成株式会社を設立し、プラスチック製品の製造販売を行う
昭和39年(1964)1月 東京営業所開所
昭和41年(1966)6月 株式会社みのるガーデンセンターを設立し、庭園の設計、施工、ホテルの盛花及び花店を開く
昭和48年(1973)7月 みのる開発株式会社を設立
ゴルフ練習場とショートコースを併設した
昭和49年(1974)3月 みのる工業株式会社を設立
機械部品の製造およびプラスチック成型を行う
昭和51年(1976)12月 農機研究所を開設
研究開発の強化充実を図る
昭和52年(1977)4月 岡山市横井上に、みのる開発株式会社笹ヶ瀬ゴルフセンターを開設
昭和56年(1981)3月 九州支店を開設
昭和57年(1982)1月 北海道支店を開設
昭和58年(1983)6月 岡山市柳町の西川緑道公園沿いに、みのるガーデンビル建設
昭和59年(1984)1月 金型工場を建設
CAD、CAMを導入し金型の製造販売を行う
昭和60年(1985)4月 植物工学研究所開設
組織培養技術を利用した花卉類の研究と生産を始める
昭和62年(1987)11月 前会長生本實、発明功勞により勲四等旭日小綬章授与
昭和63年(1988)8月 ゴルフ場建設運営のために、みのる観光開発株式会社を設立
昭和63年(1988)10月 みのる観光開発株式会社を株式会社みのるのゴルフセンターに社名変更を行う
平成元年(1989)3月 育苗センターを開設
平成元年(1989)8月 北海道みのる販売株式会社設立
平成2年(1990)1月 みのるゴルフ妹尾を開設
平成2年(1990)7月 みのるゴルフ水島を開設
平成2年(1990)11月 代表取締役社長に生本純一が就任
平成4年(1992)7月 みのる観光開発株式会社が運営する「後楽ゴルフ倶楽部」オープン
平成4年(1992)8月 北海道工場を建設
平成7年(1995)6月 研究作業場を建設
平成8年(1996)8月 みのるホテル事業株式会社を設立
平成9年(1997)8月 みのる工業株式会社をみのる化工株式会社に社名変更する
平成10年(1998)11月 みのるホテル事業株式会社が運営する「後楽ホテル」を岡山市平和町西川緑道公園沿いにオープン
平成11年(1999)11月 創業者 前会長生本實のグループ社葬を行う
平成14年(2002)4月 みのる観光開発株式会社「後楽ゴルフ倶楽部」を吸収合併
平成15年(2003)1月 本社(岡山県下市事業所)ISO14001認証取得
平成15年(2003)4月 みのるゴルフ一宮を開設
平成16年(2004)1月 固化培土工場施設整備 生産を開始
平成17年(2005)12月 本社 ISO9001認証取得
平成19年(2007)10月 エクセルソイル事業部組織化
平成20年(2008)10月 シタケ事業部組織化
平成21年(2009)6月 中国のディーゼルエンジン大手企業と技術提携契約を締結
平成23年(2011)10月 理念経営の導入、経営理念手帳製作、朝会が開始された
平成24年(2012)4月 「有機稲作成苗の会」の普及、および推進
平成25年(2013)9月 エクセルソイル事業部「第12回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」にて、最高位である国土交通大臣賞受賞
平成25年(2013)12月 「コウノトリ育むお米」で知られる豊岡市と業務提携し、無農薬栽培技術の実証に取り組む
平成26年(2014)11月 故生本実久常務の名を冠した「見栄館」を建設
平成27年(2015)6月 みのるゴルフ水島を開鎖
平成27年(2015)11月 みのるグループ創業70周年記念式典・祝賀会を開催
平成28年(2016)4月 みのるゴルフ水島跡地に、太陽光による売電事業を開始
平成28年(2016)6月 シタケ事業部 岡山工場を建設
平成29年(2017)4月 徳島県において、農業法人みのるのファーム株式会社を設立
平成29年(2017)5月 徳島県、石井町、徳島大学、農業法人「みのるのファーム」との5者で、「産官学連携による徳島県農業の成長産業化及び関連産業の復興に関する協定」を締結
平成30年(2018)3月 高度環境制御型大規模ミニトマトハウス「みのるのファーム」が完成、次世代農業の実証研究の場としても活用
令和2年(2020)1月 シタケ事業部岡山工場を1.8倍に規模拡張
令和3年(2021)1月 経営理念手帳「みのるのフィロソフィ」を制作
令和3年(2021)11月 代表取締役社長に生本尚久が就任
令和4年(2022)10月 みのるイチゴファームを建設



Plastics Molding

みのる化成株式会社

<http://www.minorukasei.co.jp>



[海外事業部 (中国・タイ)]

中山実化成塑料有限公司

No.3 Industrial Tan Zhou,
Zhong Shan, Guang Dong, 528400 China.
TEL. +86-760-8663-7223 FAX. +86-760-8663-7265

Minoru (Thailand) Co., Ltd.

300/50 Moo 1, Tambol Tasit,
Amphur Pluakdaeng, Rayong 21140 Thailand
TEL. +66-3895-0133

本社

〒709-0892 岡山県赤磐市下市388-1
TEL (086)955-3434 FAX (086)955-3135

岡山工場

〒709-0892 岡山県赤磐市下市388-1
TEL (086)955-3435 FAX (086)955-8614

北海道工場

〒068-2165 北海道三笠市岡山三笠工業団地
TEL (01267)2-4555 FAX (01267)2-3322

クリーンボックス工場

〒709-0832 岡山県赤磐市正崎816-1
TEL (086)955-6264 FAX (086)955-8566

くろがね工場

〒703-8214 岡山県岡山市東区鉄105
TEL (086)279-4600 FAX (086)279-0675

牟佐工場

〒701-2141 岡山県岡山市北区牟佐503
TEL (086)229-2921 FAX (086)229-2741

みひろ化成株式会社

〒699-5504 島根県鹿足郡吉賀町蔵木271-1
TEL (0856)77-1636 FAX (0856)77-1741

豊橋工場

〒441-3134 愛知県豊橋市大岩町字久保田48-5
TEL (0532)65-6480 FAX (0532)43-0326

関東出張所

〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野210
TEL (048)685-7100 FAX (048)683-9452

●創 業 昭和36年11月

●資 本 金 4,500万円

●従 業 員 270名

●営業内容 中空成形、射出成形によるプラスチック製品の製造 (農機部品、自動車部品、食品容器、家電用品、チャイルドシートなど)、仮設トイレの企画・開発・製造・販売

Gardening

株式会社みのるガーデンセンター

<https://minoru-garden.co.jp>



[事業所]

本社

〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3丁目2-15号
TEL (086)225-6650 FAX (086)221-8920

緑化部

〒709-0824 岡山県赤磐市穂崎1050
TEL (086)955-0116 FAX (086)956-2333

フラワー部

〒700-0904 岡山県岡山市北区柳町1-4-8-201
TEL (086)225-6614 FAX (086)238-3100

生販部

〒709-0892 岡山県赤磐市下市447番地
TEL (086)955-1735 FAX (086)955-6779

培土部

〒709-0892 岡山県赤磐市下市447番地
TEL (086)955-1143 FAX (086)955-1511

保険部

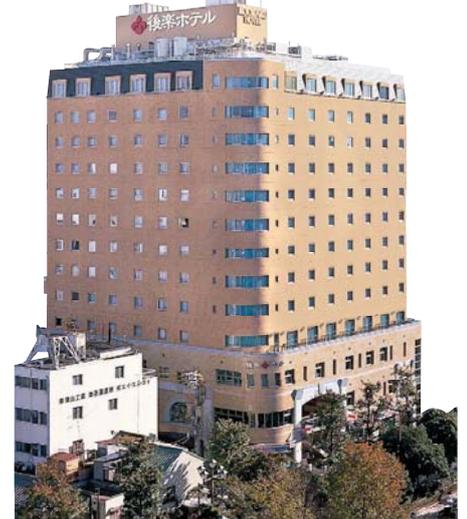
〒709-0892 岡山県赤磐市下市447番地
TEL (086)955-1407 FAX (086)955-6779

- 創 業 昭和41年6月
- 資 本 金 2,400万円
- 従 業 員 70名
- 営業内容
 - 緑化部 官民の造園設計施工および貸鉢
 - フラワー部 ホテル等の宴会用盛り花、花木の販売
 - 生販部 鉢、花、苗の販売、メルクロン技術で花卉類の品種改良、苗生産
 - 培土部 エクセルソイル、技術開発、販売
 - 保険部 損保、生保代理店

Hotel Business

みのるホテル事業

<https://www.korakuhotel.jp>



グループネットワーク

Network

Golf Business

みのる産業株式会社 ゴルフ事業部 (後楽ゴルフ倶楽部)

<http://www.kooraku.co.jp>



[事業所]

〒701-1602 岡山県岡山市北区真星2610
TEL (086) 299-0511 FAX (086) 299-0513

本社

岡山県赤磐市下市447番地
TEL (086) 955-1122(代) FAX (086) 955-5520

事務所(経理)

岡山県岡山市北区表町3丁目2番15号
TEL (086) 221-8910 FAX (086) 221-8920



- 開業 平成4年7月
- 従業員 70名
- 営業内容 150万㎡のフラットなアップダウンの少ないフェアウェイ幅平均75mという県内に類を見ない18ホールのチャンピオンコース

株式会社 みのるゴルフセンター

<https://minorugolf.com>



[事業所]

本社

〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3丁目2番15号
TEL (086) 221-8910 FAX (086) 221-8920

- 創業 昭和48年7月
- 資本金 4,000万円
- 従業員 50名
- 営業内容
 - みのるゴルフ山陽
51打席・150ヤードの練習場に9ホール・819ヤードのショートコースを併設
 - みのるゴルフ笹ヶ瀬
150打席・300ヤード打ち下ろし練習場
 - みのるゴルフ妹尾
112打席・200ヤードの練習場、インドア練習場
 - みのるゴルフ一宮
60打席、200ヤード、オートセッター、暖房設備完備

Agriculture

株式会社 (後楽ホテル)

[事業所]

本社

〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3丁目2番15号
TEL (086) 221-8910 FAX (086) 221-8920

後楽ホテル

〒700-0827 岡山県岡山市北区平和町5番1号
(西川緑道公園沿い)
TEL (086) 221-7111 FAX (086) 221-0007

- 創業 平成10年11月
- 資本金 3,800万円
- 営業内容 ホテル運営(客室211室)
- 従業員 30名

北海道みのる販売株式会社



[事業所]

〒068-2165 北海道三笠市岡山214番地6
TEL (01267) 2-4559 FAX (01267) 2-4019

- 創業 平成元年8月
- 資本金 2,000万円
- 営業内容 農業用機械器具、家庭用電化製品、農業および園芸用資材、農業園芸用合成樹脂の販売

創造への挑戦

 **みのる** 産業株式会社

<https://www.minoru-sangyo.co.jp>

 みのりん



MS
C1007

ISO 9001:2015
ISO 14001:2015

(本社・工場のみで取得)